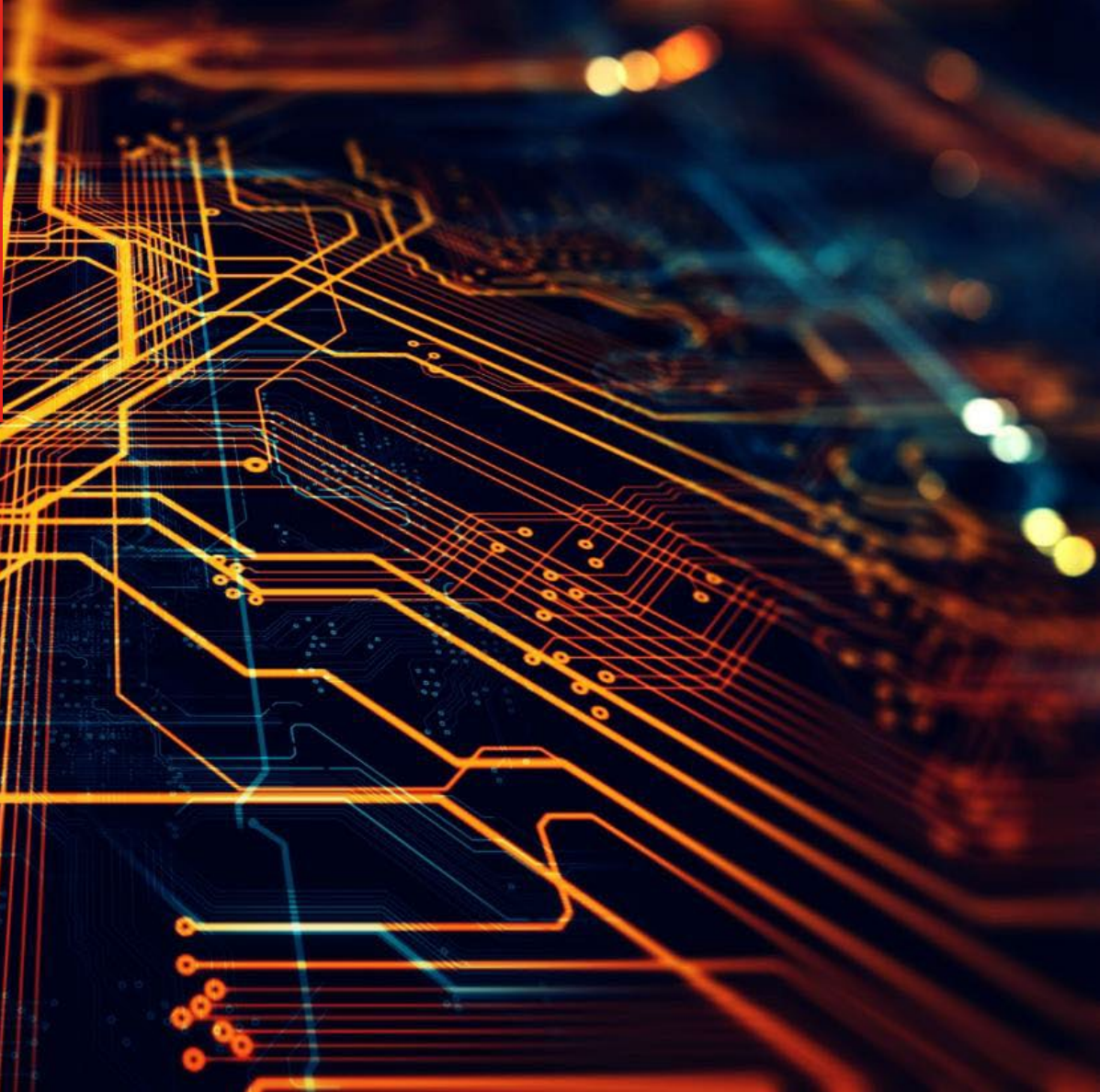


2026年3月期 第3四半期決算説明資料



NIRECO

(証券コード：6863)
2026年2月13日

本資料における業績予想及び将来の予測等に関する記述は、現時点で入手された情報に基づき判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。従いまして、実際の業績は様々な要因によりこれらの業績予想とは異なることがありますことをご承知おきください。

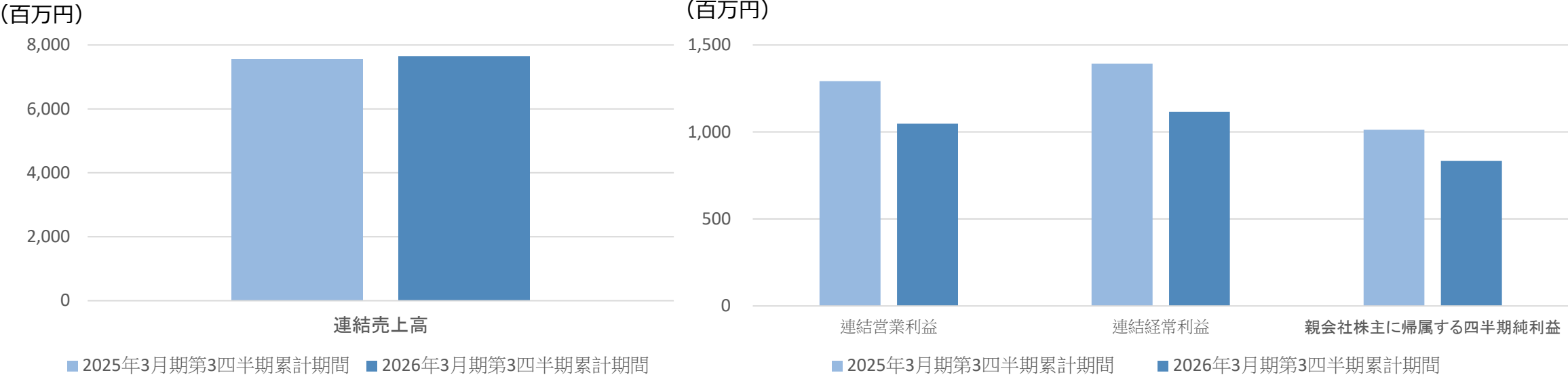
2026年3月期 第3四半期サマリー

- 売上高は対前期比微増となるも、営業利益以下の利益項目については減益
- 第3四半期にグループ化した応用光研工業（株）の数値取り込みにより、受注高・受注残が大幅に増加
- 業績は概ね想定通りに進捗。業績・配当予想に変更なし

2026年3月期 第3四半期業績

(百万円)

	2025年3月期 第3四半期累計期間	2026年3月期 第3四半期累計期間	対前年増減率
連結売上高	7,570	7,646	1.0%
連結営業利益	1,292	1,047	▲18.9%
連結経常利益	1,393	1,116	▲19.9%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,013	824	▲18.7%



2026年3月期 第3四半期 セグメント別業績

(単位：百万円)

	2025年3月期 第3四半期累計期間 売上高	2025年3月期 第3四半期累計期間 セグメント利益	2026年3月期 第3四半期累計期間 売上高	2026年3月期 第3四半期累計期間 セグメント利益
鉄鋼・非鉄金属分野	1,987	456	2,307	490
機能性フィルム・ 軟包材分野	2,024	553	1,890	481
制御機器事業	4,012	1,009	4,198	971
検査機事業	1,121	▲42	1,127	▲136
オプティクス事業	2,136	822	1,973	742
その他	300	▲40	347	▲17
調整額	-	▲456	-	▲512
合計	7,570	1,292	7,646	1,047

2026年3月期 第3四半期 受注高・受注残高

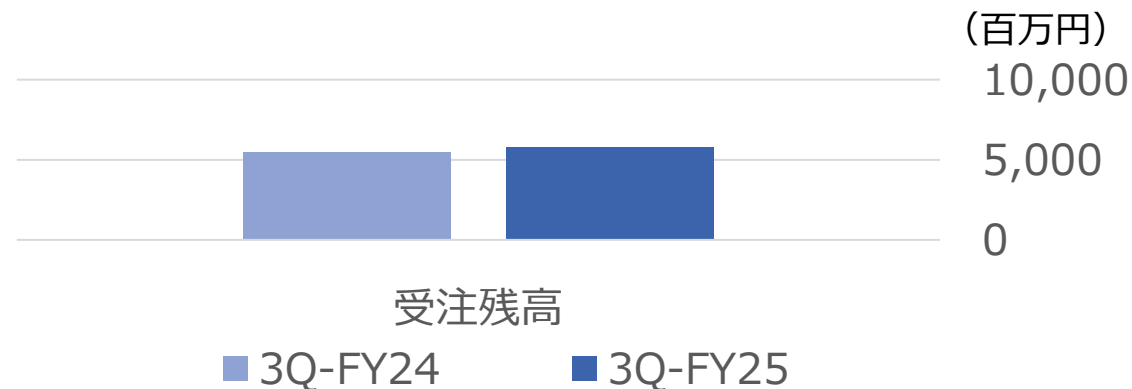
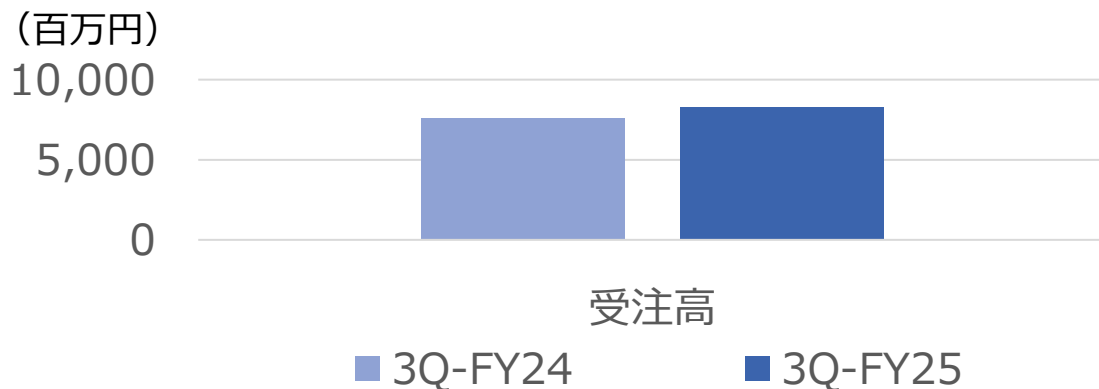
受注については、オプティクス事業で対前年比減。制御機器事業、検査機事業は対前期比増加。応用光研工業（株）の数値取り込みにより受注高・受注残高大幅増

(百万円)

	2025年3月期 第3四半期累計期間	2026年3月期 第3四半期累計期間	対前年増減率	2025年3月期 (参考)
連結受注高	7,589	8,250	30.0%	10,465
連結受注残高	5,474	5,767	5.4%	5,163

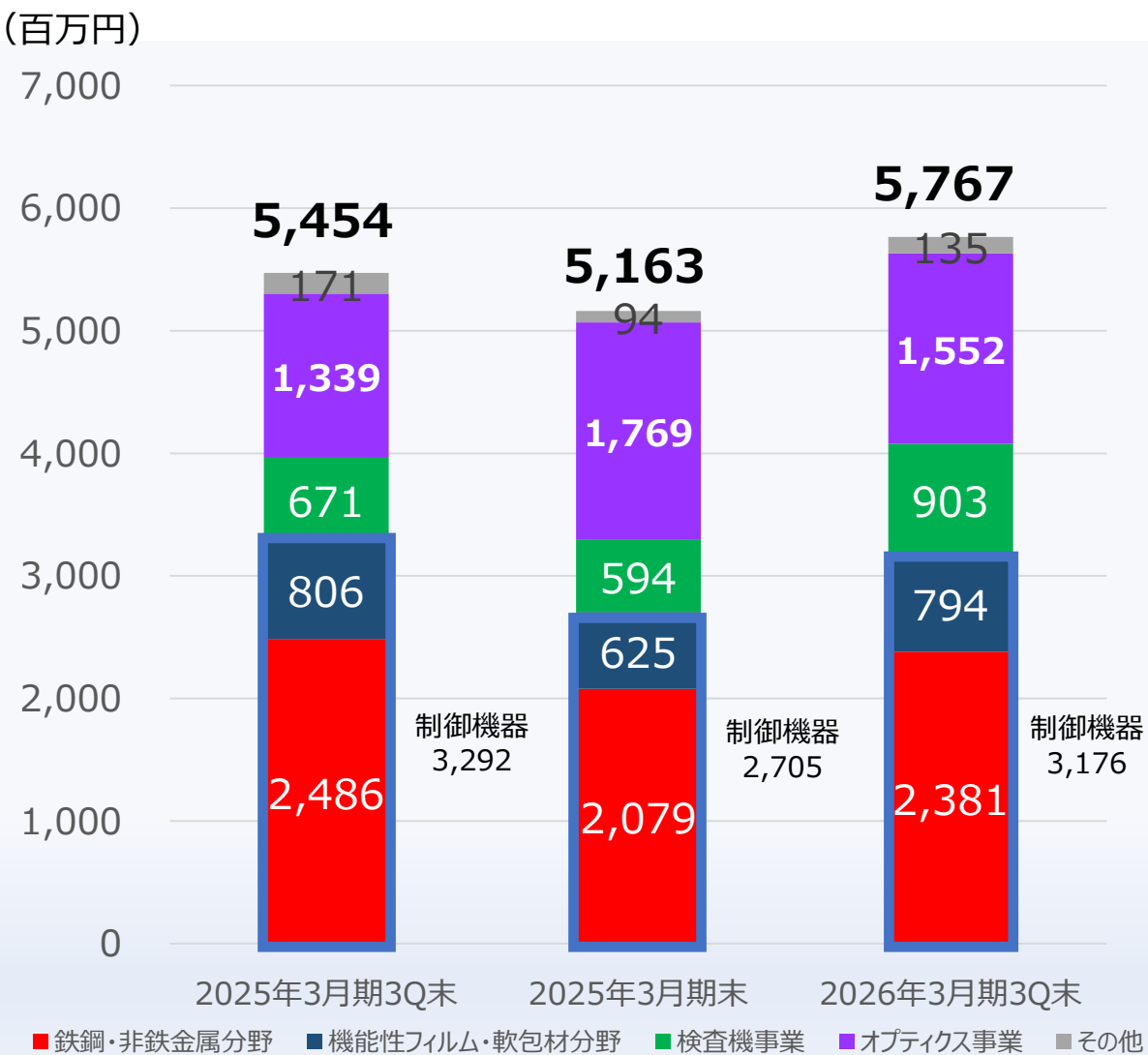
※応用光研工業株式会社の受注高・受注残高642百万円を取り込んでいます。

応用光研工業株式会社の受注残高取込内訳：検査機事業 444百万円、オプティクス事業 198百万円



2026年3月期 第3四半期 受注残高

	2025年3月期 第3四半期 累計期間末	2025年 期末	2026年3月期 第3四半期 累計期間末
鉄鋼・非鉄金属分野	2,486	2,079	2,381
機能性フィルム・軟包材分野	806	625	794
制御機器事業	3,292	2,705	3,176
検査機事業	671	594	903
オプティクス事業	1,339	1,769	1,552
その他	171	94	135
注残計	5,474	5,163	5,767



貸借対照表

(単位：百万円)

	25/3期末		26/3期 第3四半期末		前期末比
	金額	構成比	金額	構成比	増減額
現金・預金	4,815	24.9%	4,027	20.4%	▲ 787
売上債権	4,411	22.8%	4,273	21.7%	▲ 138
棚卸資産	3,915	20.2%	4,618	23.4%	+ 702
その他流動資産	125	0.6%	96	0.5%	▲ 28
流動資産	13,267	68.6%	13,015	65.9%	▲ 252
有形固定資産	3,970	20.5%	4,084	20.7%	+ 113
無形固定資産	100	0.5%	111	0.6%	+ 11
投資その他資産	2,014	10.4%	2,524	12.8%	+ 509
固定資産	6,084	31.4%	6,719	34.0%	+ 634
資産合計	19,352	100.0%	19,735	100.0%	+ 382
買入債務	506	2.6%	483	2.5%	▲ 22
その他流動負債	1,446	7.5%	1,531	7.8%	+ 84
流動負債	1,953	10.1%	2,015	10.2%	+ 61
固定負債	726	3.8%	1,319	6.7%	+ 593
負債合計	2,679	13.8%	3,334	16.9%	+ 655
純資産合計	16,673	86.2%	16,400	83.1%	▲ 272
負債・純資産合計	19,352	100.0%	19,735	100.0%	+ 382

2026年3月期セグメント別見込（変更なし）

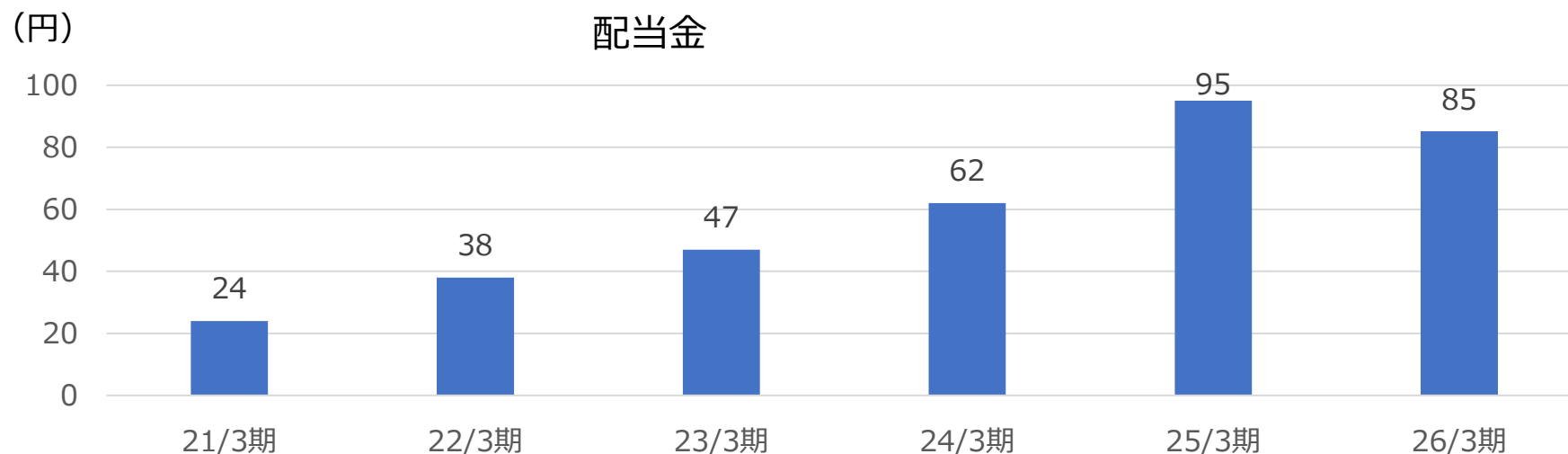
（百万円）

	2026年3月期 通期売上高見込	2026年3月期 セグメント利益見込	2026年3月期 受注見込
鉄鋼・非鉄金属分野	3,250	650	3,500
機能性フィルム・軟包材分野	2,550	650	2,750
制御機器事業	5,800	1,300	6,250
検査機事業	1,800	120	1,700
オプティクス事業	3,000	1,100	2,600
その他	400	0	550
調整額	-	▲670	-
合計	11,000	1,850	11,100

株主還元について（変更なし）

＜基本方針＞ 連結配当性向 45%以上かつ連結自己資本配当率
(DOE) 2.5%以上を目標

2026年3月期は自己株式の取得(261,000株)を実施。今後も引き続き、株主還元についての議論を継続



	21/3期	22/3期	23/3期	24/3期	25/3期	26/3期(予)
1株当たり当期純利益(円)	59.06	55.41	117.40	137.36	211.11	189.70*
配当金(円)	24	38	47	62	95	85
配当性向(%)	40.6	68.6	40.0	45.1	45.0	45.3
DOE	1.3%	2.0%	2.4%	3.0%	4.3%	3.7%

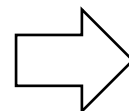
*2025年12月31日までの自己株式の取得の影響を考慮しています。

持続的成長に向けた成長テーマ（再掲）

いかなる環境下においても成長できる企業グループの実現

市場の拡大

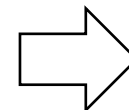
- ・ 海外展開の推進強化
- ・ 検査機事業の強化・オプティクス事業の強化
- ・ 新製品開発による新事業分野の開拓



事業基盤の拡大強化

技術の進化

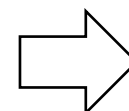
- ・ 画像解析技術の高機能化による製品展開
- ・ 光応用技術による製品開発



競争優位性の向上

経営体質の強化

- ・ 既存事業の収益改善
- ・ グループ・外部との連携強化によるシナジー最大化
- ・ 競争力強化のための人的投資、並びにインフラ投資



経営基盤の強化

中期基本方針（再掲）

利益を重視した方向性の強化

安定的な事業基盤を有する制御機器事業部の事業効率向上と収益性強化

検査機事業、オプティクス事業の成長促進

事業環境の整備と将来の成長に向けた人への投資強化

M&Aを含めた非連続的な成長の模索

ニレコグループの成長戦略：基本的な考え方



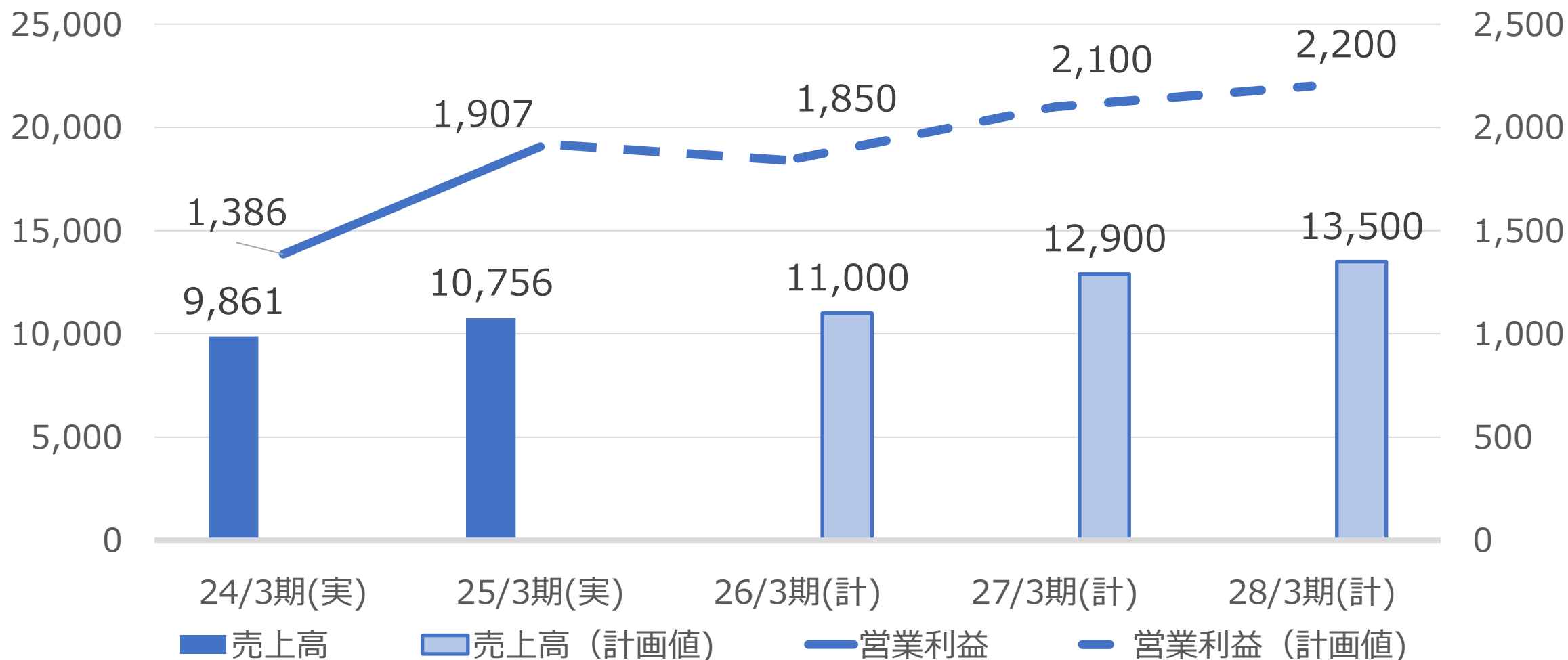
- 安定した収益源である制御機器事業の付加価値を高め、キャッシュフローを確保
- 成長を牽引するオプティクス事業の半導体分野での拡大
- ペロブスカイト太陽電池など新型発電分野への注力により、検査機事業を収益化
- M&Aによる成長加速とシナジー創出



収益源を成熟産業から半導体などの成長産業に拡げるとともに、顧客製品の品質・歩留向上に寄与することで、社会全体の省資源・サステナビリティに貢献

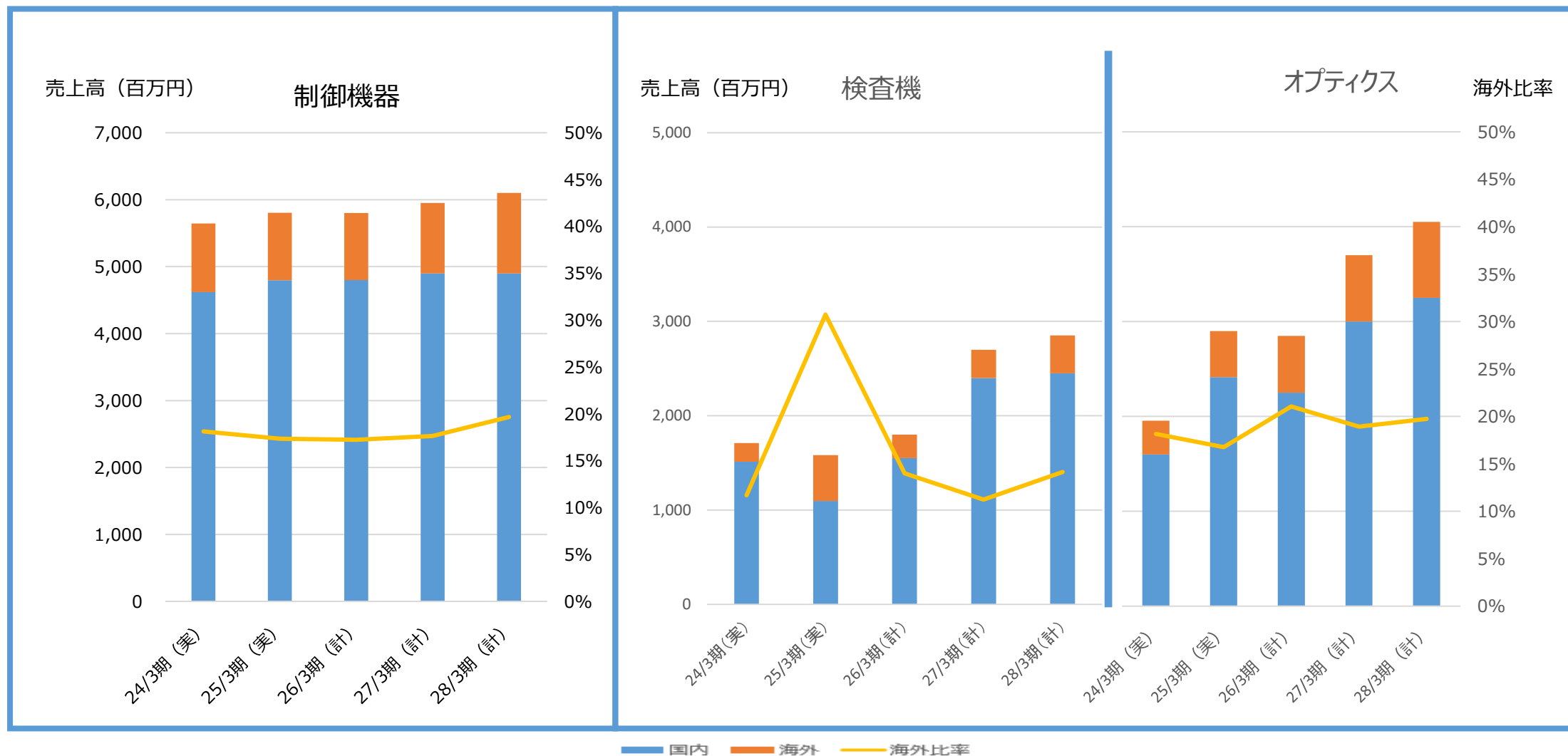
中期計画（11月修正版と同数値）

(単位：百万円)



中期計画（再掲：体裁のみ一部修正）

（セグメント別国内外売上）



ニレコグループの成長戦略：事業環境認識

- **外部環境の変化への対応**

国際情勢の緊張や供給制約、AI技術の進展などの外部環境変化が産業に影響を与える。これらのリスクとチャンスをつ捉えた事業戦略が重要。

- **産業構造の転換**

不確実性が増す中でも、供給体制の適正化、ビジネス領域の拡張、デジタル技術の活用を通じて高付加価値な産業構造への転換が求められる。

- **デジタル技術の活用**

デジタル技術やAIの進展により、産業構造が変化。エレクトロニクス、ヘルスケアなどの分野での付加価値向上や新規需要創出に期待。

- **人口動態の変化と労働力不足への対応**

高齢化や生産年齢人口の減少により、労働供給制約が深刻化。省人化・省力化投資やデジタル技術の活用が重要。

- **環境対応の推進**

クリーンエネルギー供給の拡大が求められ、エネルギー産業では生産能力の最適化とデータセンター向け需要への対応が重要。

参考資料：みずほ産業調査 日本産業の中期見通し 向こう5年（2026-2030年）の需給動向と求められる事業戦略

<https://www.mizuhobank.co.jp/corporate/industry/sangyou/pdf/1079.pdf>

ニレコグループの成長戦略：各事業領域での対応キーワード

◆デジタル化（オプティクス事業）

◆高付加価値化（制御機器事業）

◆省人化・省力化（検査機事業）



- ✓ AIが牽引する半導体分野でオプティクス事業の光学部品の需要増大。技術力、生産能力拡充、グループ内シナジーにより成長を図る
- ✓ 制御機器事業は、高付加価値化やグリーンエネルギー分野での販売拡大により、収益力を更に高める
- ✓ 検査機事業ではペロブスカイト太陽電池や省力化のニーズに応える



ニレコグループ成長のカギ：オプティクス事業におけるグループ各社の取組み

グループ各社の光学事業



結晶を製造



加工・研磨・評価

京浜光膜株式会社



薄膜加工



レーザ装置

各社それぞれがお取引先との
パートナーシップを活かして成長
しつつ、知見の共有を進めること
で総合力を高めていく

ニレコグループの成長戦略

オプティクス事業：

- 半導体市場：2030年の市場規模65百万米ドルと見込まれる（CAGR：年平均成長率10.1%）半導体検査装置向け DUVレーザ市場※1に対し、レーザ装置、光学部品で市場に深く関与し、特に需要が旺盛な光学部品の生産能力拡充に注力
- 2032年の市場規模195百万米ドルと、CAGR6.6%で成長する中赤外光学部品市場※2に対し、光学結晶の育成、加工、薄膜工程で赤外線市場向けの製品を提供
- レーザ新製品を鉄鋼分野向け高精度計測など、技術と顧客基盤を活かせる分野へ展開
- グループ内各社の人的交流や知見を活かし、品質・生産性向上、販路拡大活動を実施

参考資料：

※1：Reliable Research IQ. Global Wafer Inspection DUV Lasers Market Growth 2024-2030
<https://www.reliableresearchiq.com/wafer-inspection-duv-lasers-r2972805>

※2：YH Research グローバル中赤外光学素子のトップ会社の市場シェアおよびランキング
 2026<https://www.yhresearch.co.jp/reports/1257069/mid-infrared-optical-elements>



左：深紫外ファイバーレーザ Cygnus
 右：中長距離高精度レーザ距離計測器 BFSシリーズ

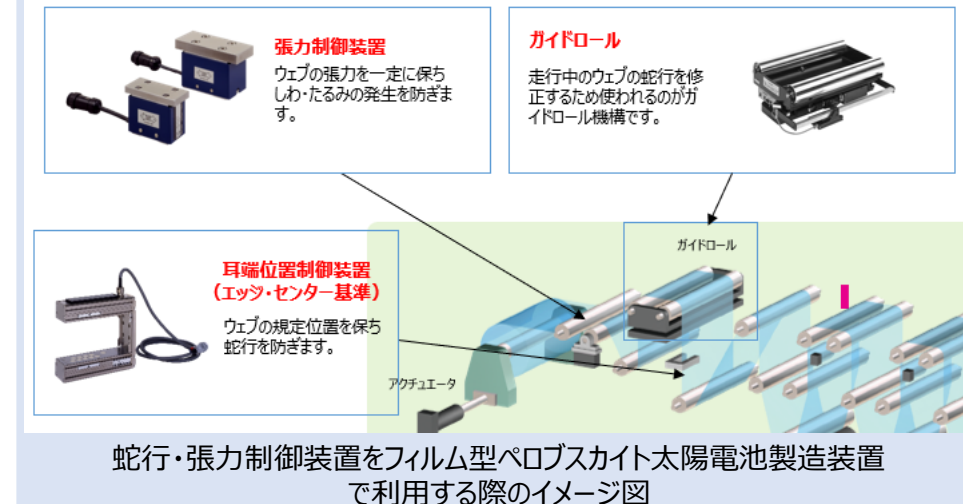
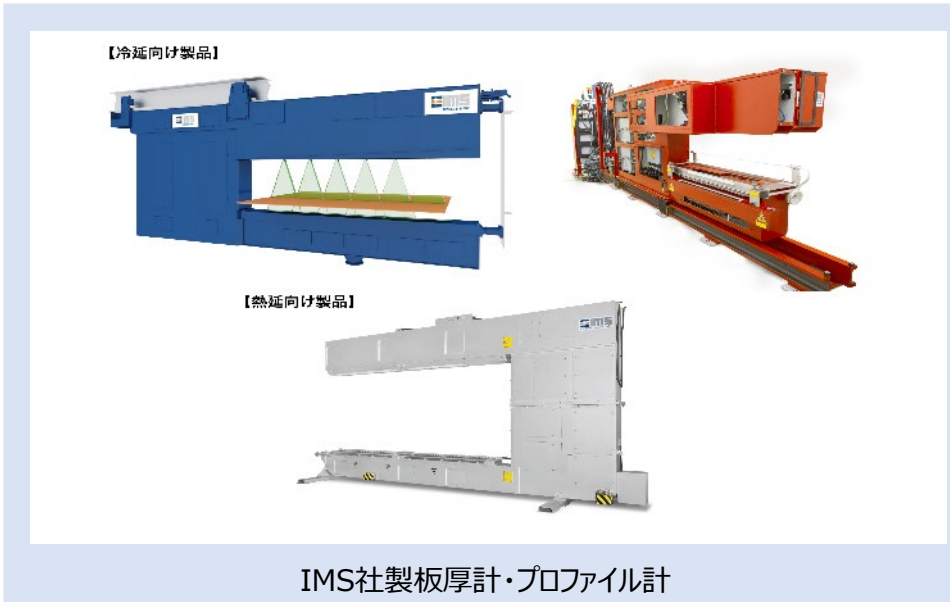


左上：応用光研工業（株）の光学結晶
 右上：（株）光学技研のCLBO結晶加工
 中央下：京浜光膜（株）の光学薄膜製品

ニレコグループの成長戦略

制御機器事業：

- 付加価値の最大化に向けた各種施策・販売展開
- 高品位鋼製造ライン向け板厚計、プロファイル計など、競争力の高い製品の販売に注力（鉄鋼分野）
- 独IMSグループとの連携により、米国・インドなど成長市場への展開を拡大（鉄鋼分野）
- 食品包装機業界における制御・検査需要に応える製品の開発、上市（機能性フィルム・軟包材分野）
- ペロブスカイト太陽電池・全固体電池等の新型発電方式用デバイスの製造装置向けに、独E+L社製品を含め蛇行・張力制御装置販売注力（機能性フィルム・軟包材分野）
- お客様と共に成長してきた当社にしかできないマーケティングを強化し、生産現場の課題を技術で解決する次期製品の開発



ニレコグループの成長戦略

検査機事業：

- ペロブスカイト太陽電池など新型発電方式に向けた、表面検査装置の技術開発（更なる高速処理化及び高機能化など）
- ニレコの認知度が高い鉄鋼業界に対し、新たなAI弁別方式を用いた表面検査方式を提案
- 更なる省人化が求められる食品加工業界において、AI検査及びAI弁別機能を付加した検査による課題解決
- 付加価値向上を目指す農産物（野菜・果物）セグメントに対し、内部センサを用いた新たな品質測定方法を提案
- 新たにグループ入りした応用光研工業の計測事業との協働による販売拡大



無地表面検査装置 専用ホームページ
<https://nireco-kensa.com/ja>



応用光研工業製
放射線計測機器（一部）



小物物品搬出モニタ 簡易型体表面汚染モニタ

ニレコグループの成長戦略

その他セグメント（西武電機）：

- 2021年の西武電機のニレコグループ入りにより、同社内での電子基板開発が加速している
- 西武電機の従来からの受託開発、量産ビジネスをニレコ協力会社との協業により拡大中
- JAXA向けを始め宇宙ビジネスも拡大基調
- 新たにグループ入りした応用光研との協業検討を開始



※他の装置へも基板提供

NIRECO



深紫外ファイバーレーザ Cygnus



中長距離高精度レーザ距離計測器
BFSシリーズ

OKEN



応用光研工業製放射線計測機器
（検査機事業：将来的に検討）

NIRECO

参考資料

会社概要

会社名	株式会社ニレコ
代表取締役社長	中杉 真一
本社所在地	東京都八王子市石川町2951-4
設立	1950（昭和25）年11月
上場市場	東京証券取引所スタンダード
資本金	3,094百万円*
連結従業員数	466名*
連結売上高	10,756百万円*

* 2025年3月期連結

沿革

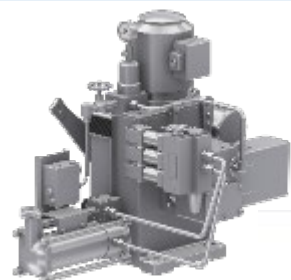
- 1950年 : 東京都中央区に日本レギュレーター株式会社を設立
- 1979年 : 東京都八王子市に本店を移転
- 1984年 : 商号を「株式会社ニレコ」に変更
- 1989年 : 日本証券業協会に株式を店頭公開
- 1990年 : ミスミ電子株式会社（後のミヨタ精密株式会社）を子会社化
- 1998年 : 仁力克股份有限公司を子会社化（台湾）
- 2003年 : 尼利可自動控制機器（上海）有限公司を設立（中国）
- 2004年 : JASDAQ証券取引所に上場
- 2013年 : 東京証券取引所JASDAQ（スタンダード）上場に移行
- 2014年 : Nireco Process Korea Co., Ltd.を設立（韓国）
- 2018年 : Nireco Process Korea Co., Ltd.が土地・建物取得し生産体制整備
- 2019年 : 株式会社光学技研を子会社化
- 2021年 : 西武電機株式会社を子会社化
- 2022年 : 東京証券取引所の市場再編に伴い、スタンダード市場へ移行
- 2023年 : Nireco Process Korea Co., Ltd.が社名をNireco Korea Corporationへ変更
- 2024年 : ミヨタ精密株式会社を吸収合併
京浜光膜株式会社を子会社化
- 2025年 : 応用光研工業株式会社を子会社化

技術と信頼

われわれは、制御、計測、検査の技術を活かした製品ときめ細かいサービスの提供により、お客様から厚い信頼を獲得し、良きパートナーとして共に成長します。さらに、パートナーシップにより生み出した価値を広く社会に応用することで、豊かで持続可能な社会の実現に貢献していきます。

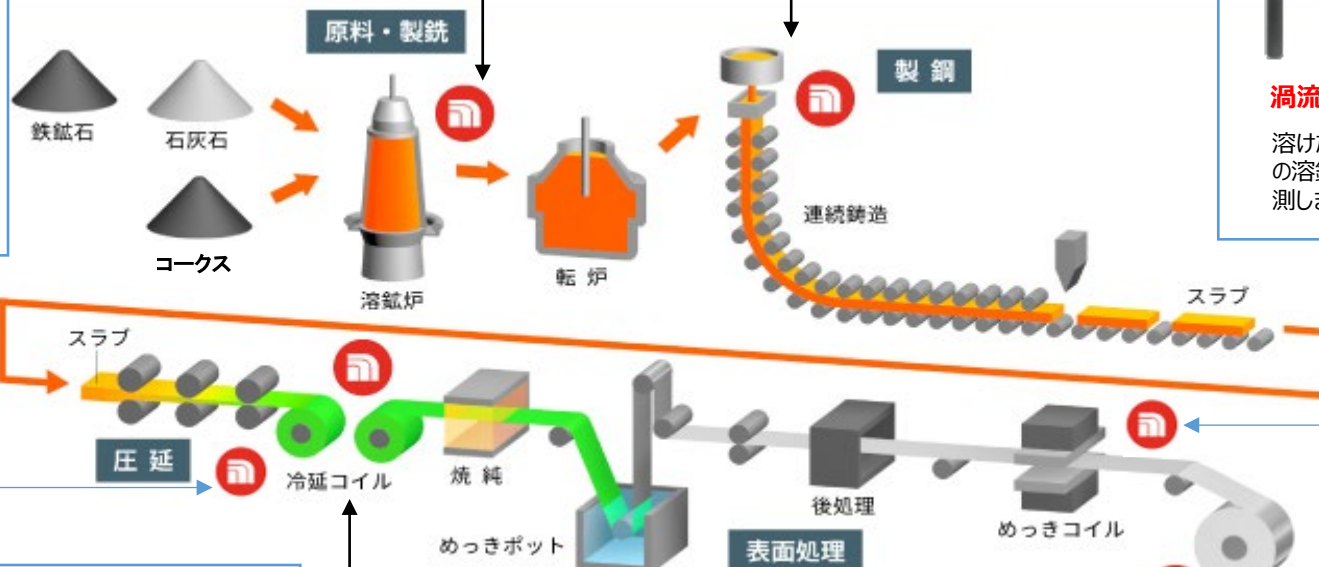
制御機器事業：鉄鋼・非鉄金属分野

鉄鋼をはじめ、金属、ガス、化学工業等あらゆる工業における自動制御装置を扱う事業です。



プロセス制御装置

溶鉱炉内の圧力、流量、温度等の制御を行っています。



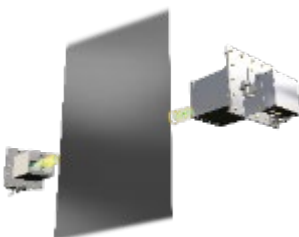
渦流式溶鋼レベル計

溶けた鋼を型に流し込む際の溶鋼の表面の位置を計測します。



板厚計

板の厚み、幅などをオンラインで計測します。



耳端位置制御装置

製造ラインを流れるスラブ（鋼材）の蛇行制御を行っています。



自動識別印字装置

できあがった金属素材に様々な情報を印字しています。

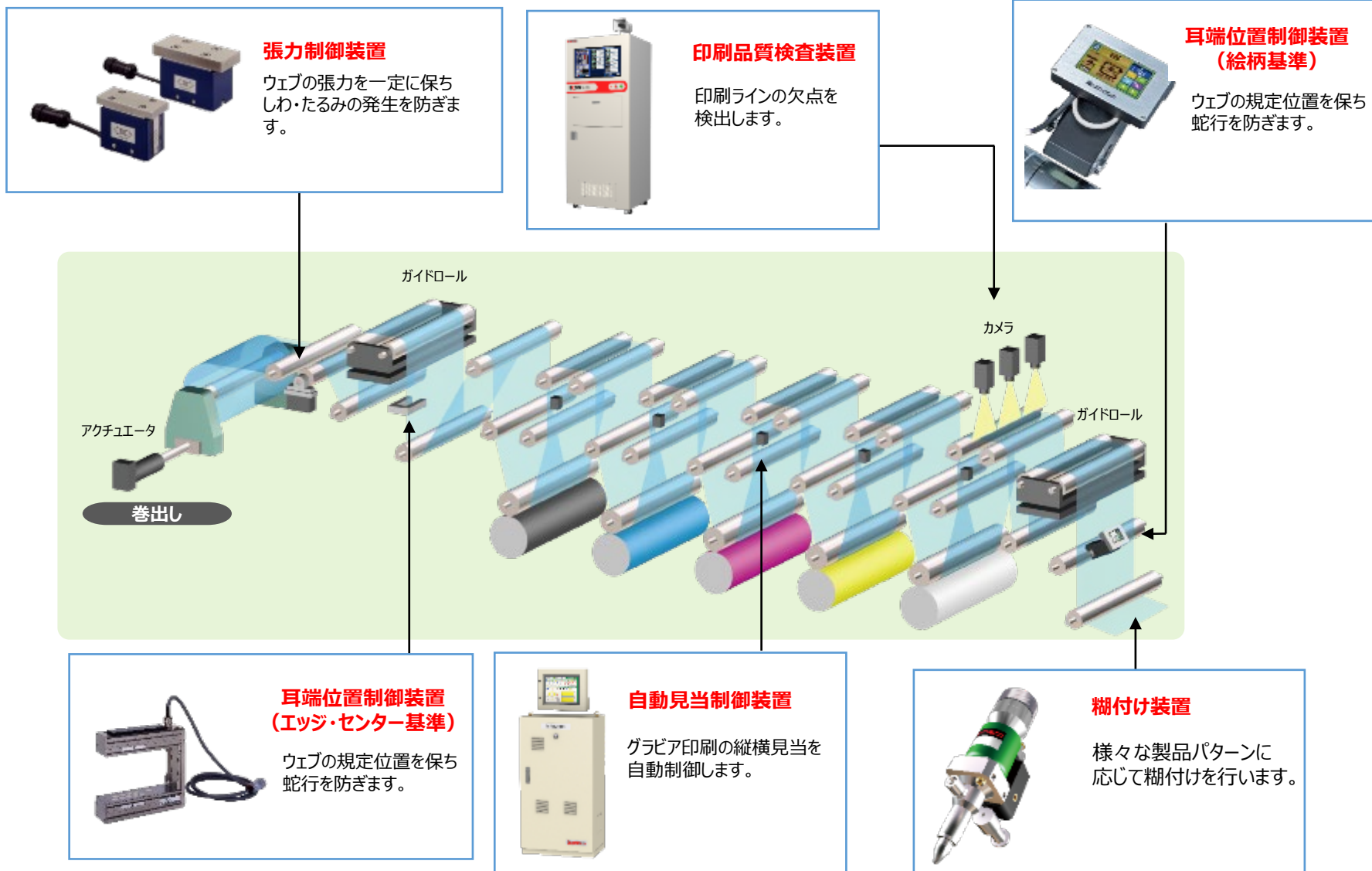


X線付着量計

板への亜鉛やクロムなどの付着量をオンラインで計測します。

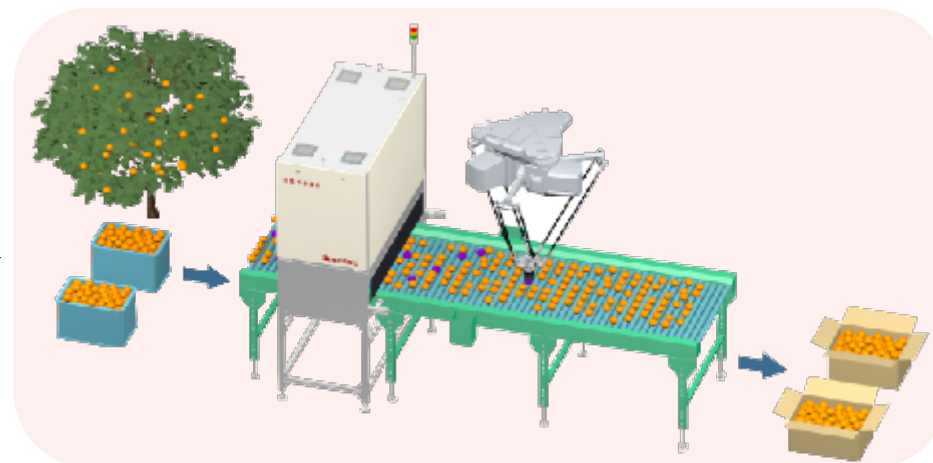
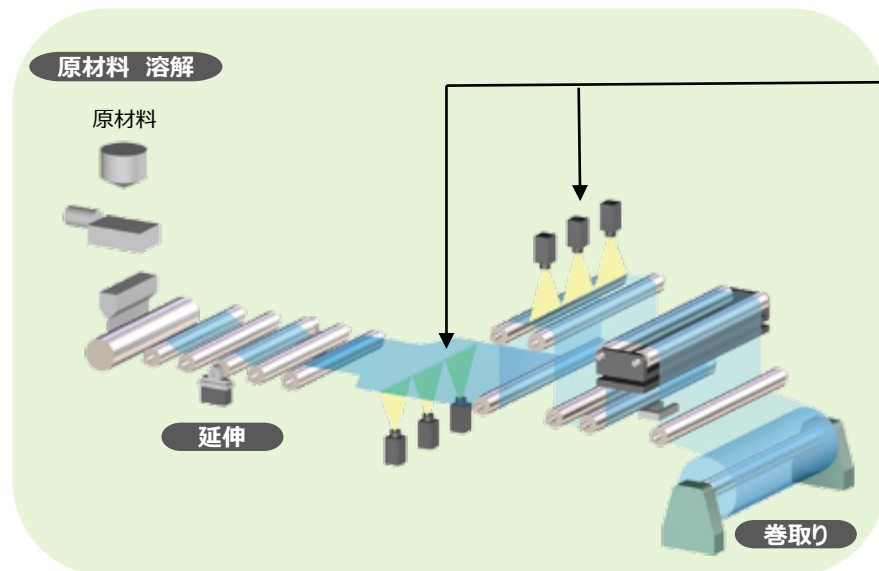
制御機器事業：機能性フィルム・軟包材分野

主に紙・フィルム・箔等薄いシート状素材（＝ウェブ）の位置制御装置等を扱う事業です。



検査機事業

画像処理技術をベースとした農産物、電子部材の品質検査装置およびグループ会社の応用光研工業株式会社が開発・製造する放射線計測機器を取り扱う事業です。



放射線計測機器



小物物品搬出モニタ



簡易型体表面汚染モニタ



食品検査モニタ
サンプルチェンジャ付
微量放射能測定装置



施設モニタ用
モニタリングポスト

オプティクス事業

長年に渡り培ってきたレーザ関連製品やグループ会社の株式会社光学技研が取り扱う高度な技術を必要とする特殊な光学部品、京浜光膜株式会社で製造する先端分野向け光学薄膜製品、応用光研工業株式会社製の光学結晶・シンチレータ結晶を扱う事業です。

➤ 主要用途：

- 半導体検査装置
- 光学機器
- 医療機器
- 放射線計測

光学部品



非線形光学結晶

深紫外光への波長変換に適したCLBO素子を提供し、先端半導体検査装置等で用いられています。

独自の加工技術で、世界の複数の半導体検査装置メーカーから高い評価を受けています。



偏光子

特定の光を取り出すことのできる偏光子を、学術研究分野、光学機器分野、レーザ用途等、幅広く提供しています。

レーザ関連製品



深紫外ファイバーレーザ Cygnus

深紫外ファイバーレーザを用いたマスク検査を実現します。定期的なメンテナンスは年1回と安定的な性能を有しています。

光学薄膜



光学フィルター、ミラー、AR、多層膜医療機器やレーザ機器、光通信機器といった多様な先端分野に向けて、高品質な製品を提供し、試作開発も請け負っています。

光学結晶



ブリッジマン法で育成した高品質、大口径の単結晶です。レンズ、プリズム等の高精度光学製品として用いられています。

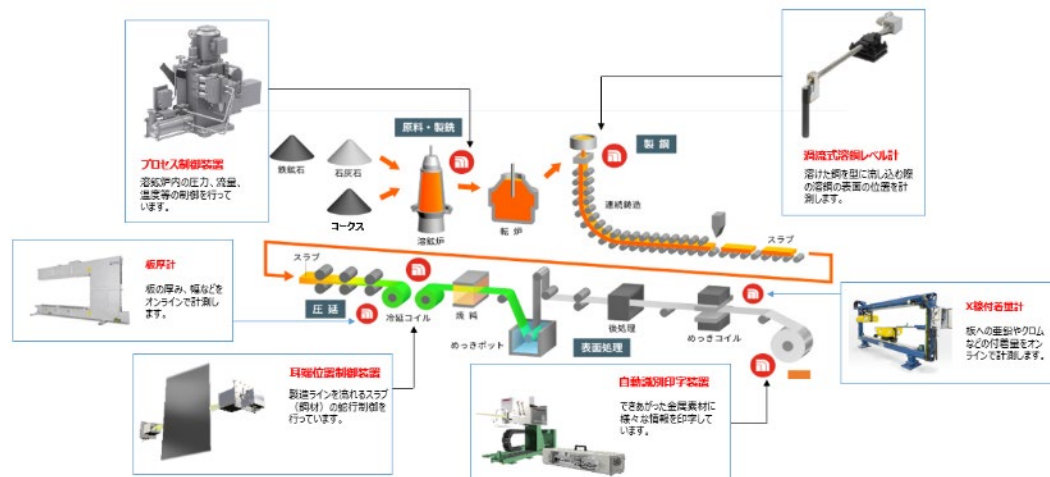


シンチレータ結晶
放射線計測用途の結晶です。

ニレコグループの強み：ニッチトップ分野

NIRECO

プロセス制御装置・マーキング装置



日本国内の製鉄メーカー向けの制御装置・マーキング装置では、これまでの納入実績やアフターサービスが信頼性として評価され、高い市場シェアを保持

耳端位置制御装置 (EPC/CPC)



ウェブ（薄物）の規定位置を保ち蛇行を防ぐ装置。紙類から金属箔、機能性フィルムまで多様な産業で活用される

糊付け検査装置



様々な製品パターンに応じた糊付けの検査が可能な装置。封入品質の確認に不可欠な装置として利用される

機能性フィルム・軟包材分野では、耳端位置装置や糊付け検査装置で国内トップシェアを保持

光学技研 THE ONE AND ONLY

(株) 光学技研 CLBO結晶加工

「The One and Only」の社是の下、独自技術を磨く。
DUV検査装置に不可欠な非線形光学結晶（CLBO結晶）の加工が商用レベルで可能なのは同社のみ



応用光研工業（株）

高性能ヨウ化ナトリウム (NaI(Tl))結晶製造

NaI(Tl)シンチレータ結晶
国内トップシェア



※トップシェアの認識については、市場調査等を基に当社調べ

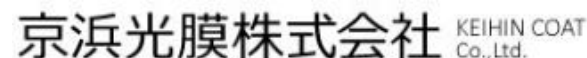
ニレコグループ企業 国内

セグメント オプティクス



オプティクス事業製品の開発、製造及び販売を行っています。

DUVレーザ装置の波長変換に利用されるCLBO結晶を、商用レベルで加工できるトップクラスの技術力を有します。



光学薄膜加工技術によるフィルター、ミラーの開発、製造及び販売を行っています。

広範な領域へ製品を提供し、試作開発も請け負います。



セグメント 検査機・オプティクス



放射線測定技術を活かした測定器や、光学製品、シンチレータの開発、製造及び販売を行っています。測定器は自治体、公的研究機関にて活用され、技術には高い信頼性があります。



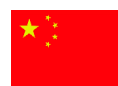
セグメント その他



電子機器、情報機器、各種機器の開発および製造を行っています。基板の設計から実装・試験までを請け負い、宇宙産業に参画する程の技術力を有します。



ニレコグループ企業 国外



尼利可自动控制机器（上海）有限公司 (ニレコ上海)

中国の上海市内にある当社子会社です。
当社製品全般にわたり製造、販売及び保守
サービスを行っています。



仁力克股份有限公司 (ニレコ台湾)

台湾の新北市内にある当社子会社です。
当社フィルム・印刷分野及び検査機事業
の製品を中心としてアジア地区における製
造及び販売を行っています。



Nireco Korea Corporation (NIK)

韓国の慶州市にある当社子会社です。
当社鉄鋼・非鉄分野の製品の製造、
販売及び保守サービスや検査装置の
販売を行っています。

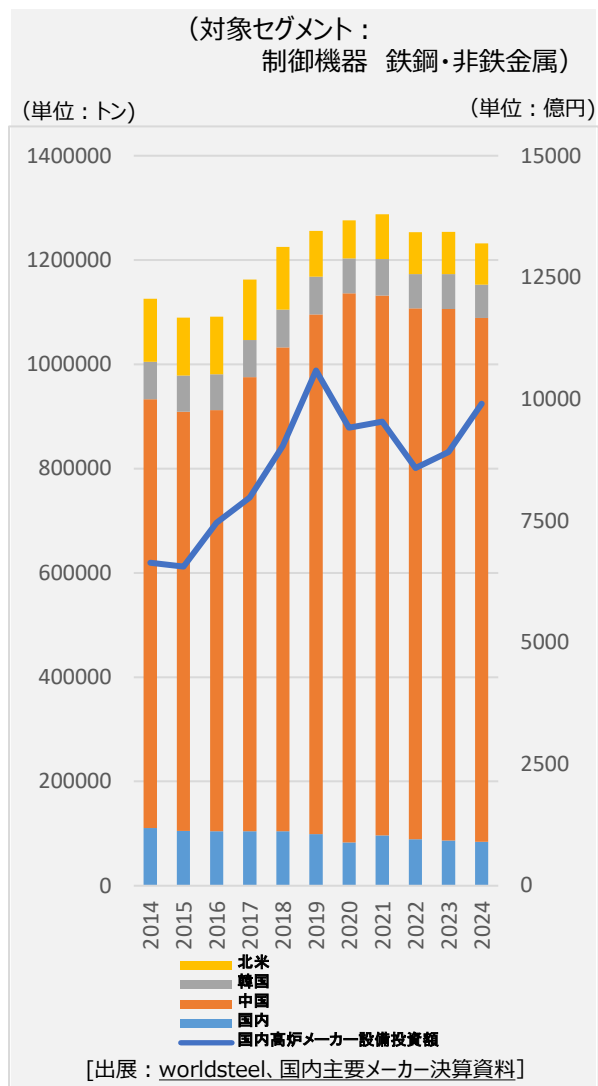


株式会社ニレコ

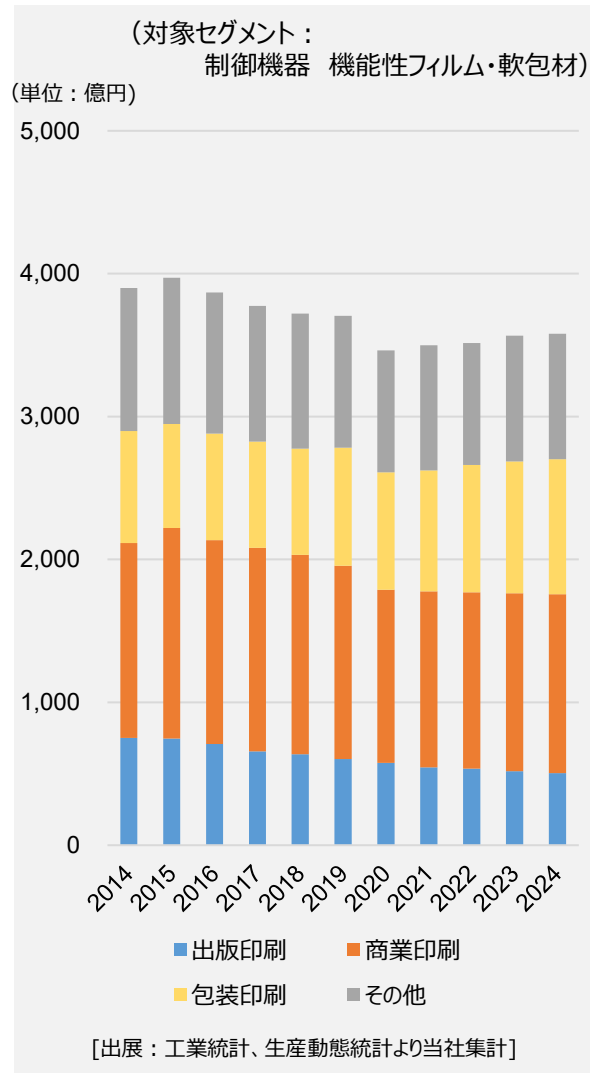


各事業市場動向

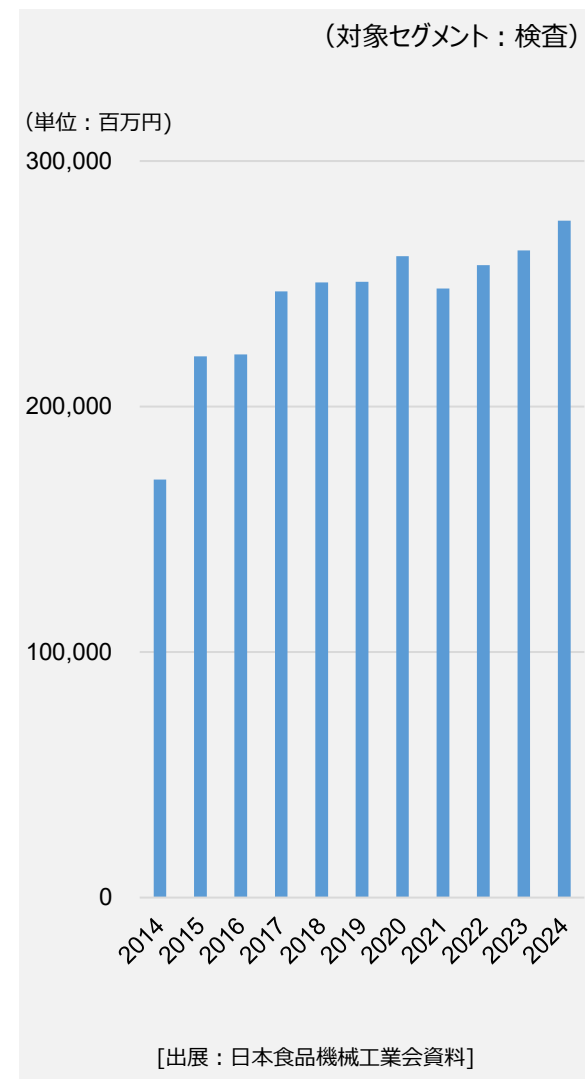
地域別粗鋼生産量及び
国内高炉大手設備投資額の推移



印刷市場規模の推移

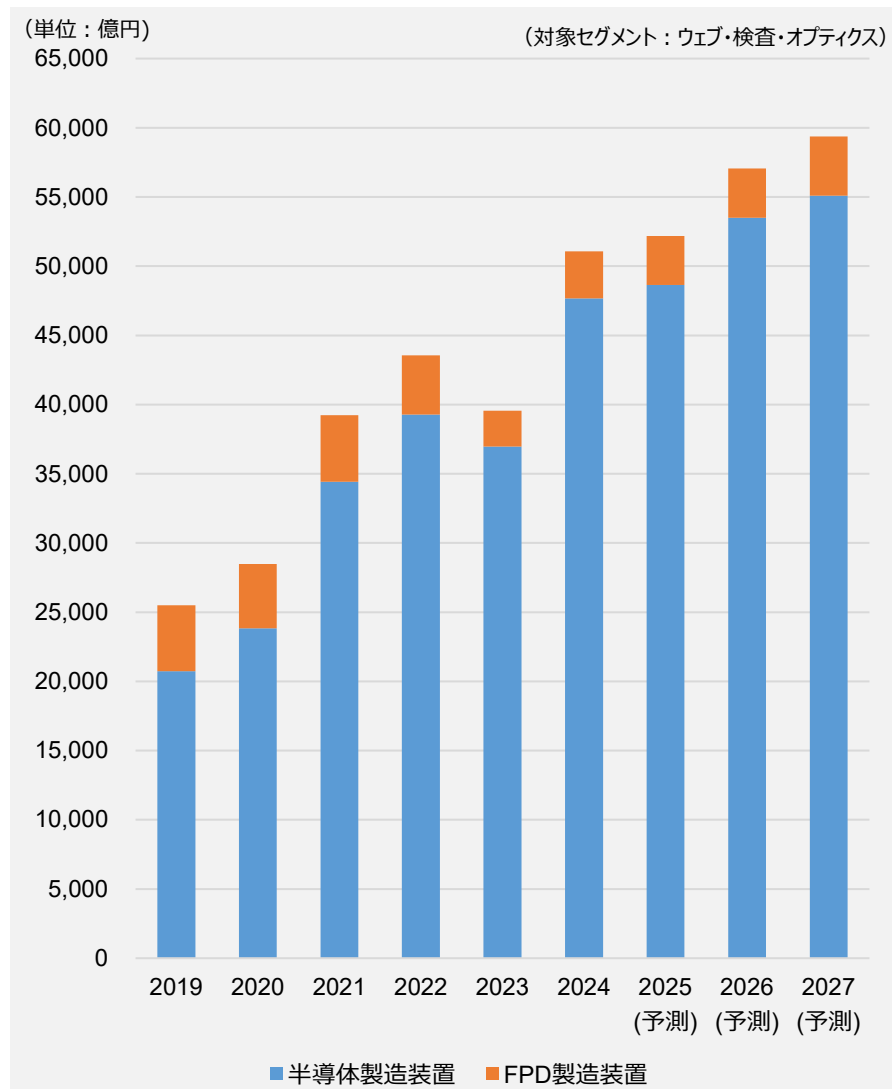


食品機械国内販売額の推移
(除、加工機械)



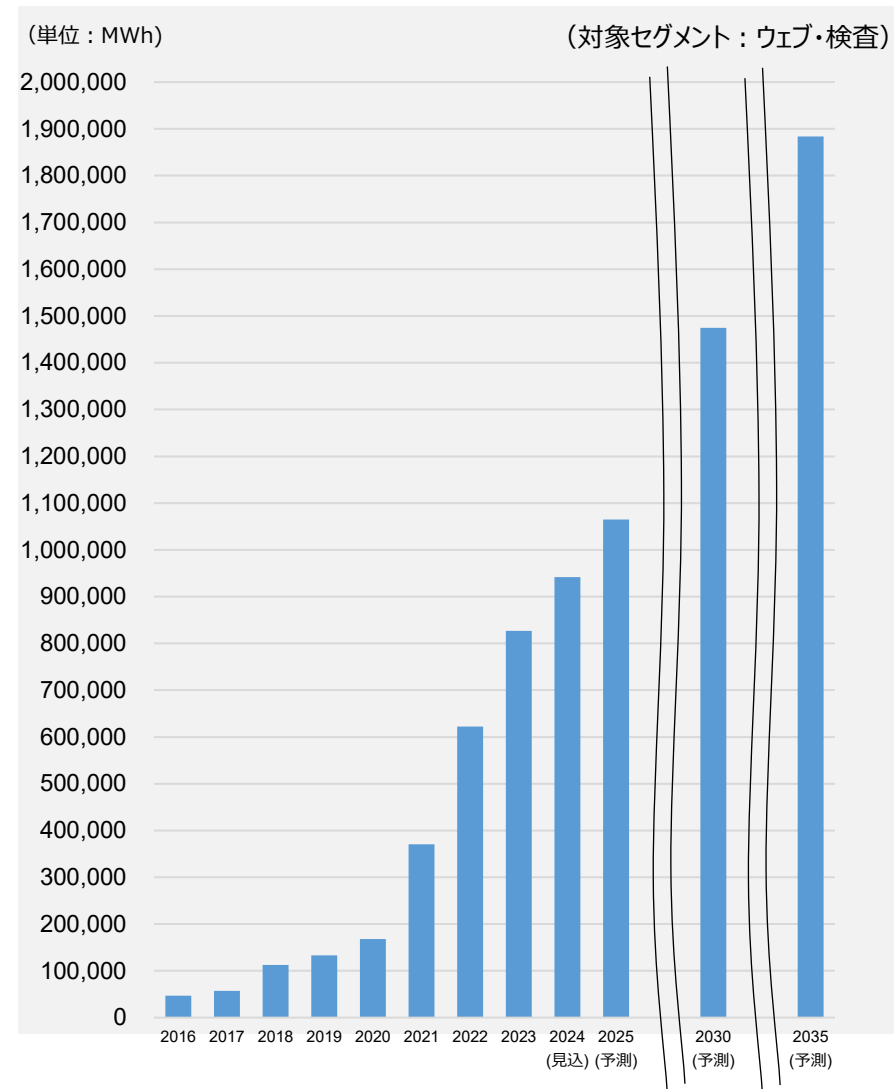
各事業市場動向

半導体・FPD製造装置需要予測



[出展：日本半導体製造装置協会]

車載用Lib世界市場予測



[出展：矢野経済研究所資料]

NIRECO